

学校関係者評価委員会 記録

平成 31 年 3 月 22 日 15:00～16:00

晴陵リハビリテーション学院 会議室

参加者

立川メディカルセンター常務理事 晴麗看護学校長 上原徹

悠遊健康村病院 リハビリテーション科技師長 近藤公則

悠遊苑リハビリテーション科主任 平原奈緒美

晴陵リハビリテーション学院 学院長 吉井新平

晴陵リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長 菫澤力

晴陵リハビリテーション学院 作業療法学科 学科長 上杉文都

晴陵リハビリテーション学院 事務長 五十嵐孝之

自己評価表に基づき進行し、評価・意見等頂く。

晴陵リハビリテーション学院 自己評価表

H31.1.8 実施

1. 学校の教育目標

国家試験（理学療法士・作業療法士）合格率 100%

就職率 100%

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教員による高校訪問、相談会・ガイダンスへの積極参加、学校説明会・体験入学会オープンキャンパスなど広報活動をしっかりと行い、入学者数定員（各40名）を確保する

3. 評価項目の達成及び取組状況

（評価は適切・ほぼ適切・やや不適切・不適切の4段階）

（1）教育理念・目標

評価項目	評価	摘要
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	適切	
学校における職業教育の特色は何か	適切	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	
学校の理念・目標・育成人材像・特色・未来構想などが学生・保護者等に周知されているか	ほぼ適切	HP、パンフレット等に記載

学校の理念・目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	ほぼ適切	
--	------	--

I. 課題

- ・業界のニーズを把握する手段が不足している

II. 今後の改善方策

- ・学校の教育手法を広報に取り入れ、学校の理念・目標・人材育成像・特色と合わせて、幅広く認知してもらえるよう広報資料を作成する
- ・学校関係者評価委員会を編成し、業界のニーズや今後を探り、教育活動に活かす

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

年度目標の設定と共有を行なって学生数と学生の質の確保を維持すること

(2) 学校運営

評価項目	評価	摘要
目的等に沿った運営方針が策定されているか	やや不適切	明文化され、職員間で共有されていない
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	やや不適切	中長期計画が設計されていない
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	やや不適切	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	適切	医療法人に準ずる形で整備されている
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	やや不適切	明文化されていない
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	不適切	明文化されていない
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	やや不適切	積極的には行われていない
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	やや不適切	システムとして構築されていない

I. 課題

- ・ほとんどが明文化されていない

II. 今後の改善方策

- ・各種規程・体制の明文化

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

今後のためにも各種規程や体制の明文化を行なって行ってください

(3) 教育活動

評価項目	評価	摘要
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	適切	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	やや不適切	関係病院施設、関係分野との意見交換の機会が少ない
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	適切	
職業教育に対する外部関係者の評価を取り入れているか	適切	リハビリテーション教育評価機構
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切	

資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	適切	
関係分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	ほぼ適切	
関連分野における先端的な知識・技術等の修得のための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	ほぼ適切	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	やや不適切	学校独自で行っているものはない

I. 課題

関係施設や業界団体などとの意見交換をする機会が少ない
 教員のスキルアップに関しての規程がない

II. 今後の改善方策

定期的な意見聴取の機会を設ける
 医療現場との連携を図り、教員の知識技術がバージョンアップできるような機会を設ける

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

臨床実習者会議や実習地訪問も活用し、関係施設や業界団体などとの意見交換
 立川メディカルセンターグループ関連病院と調整し、現場のニーズを教育や学生へフィードバックしてもらうために教員や学生のやり取りを増やしていく

(4) 学修成果

評価項目	評価	摘要
就職率の向上が図られているか	適切	全体で就職指導、就職相談会の実施等
資格取得率の向上が図られているか	適切	国家試験特別講座等の実施

退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	個別指導等の実施
卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	やや不適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	不適切	

I. 課題

機会があれば卒業生の就職後の様子を聞くことはあるが、とりたてて把握する活動をしていない

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

卒業生を対象に月1回技術研修会を学院で行なっているのはいいと思う
同窓会を活用し、卒業生との結びつきを図ってみてはどうか

(5) 学生支援

評価項目	評価	摘要
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	ほぼ適切	就職相談会、個別指導の実施
学生相談に関する体制は整備されているか	ほぼ適切	担任制
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	ほぼ適切	納付金の2期分納、特待生制度など
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	ほぼ適切	病院と連携し、健康診断実施フォロー
課外活動に対する支援体制は整備されているか	やや不適切	学校施設の貸出
学生の生活環境への支援は行われているか	やや不適切	特別なことを実施していないため
保護者と適切に連携しているか	ほぼ適切	定期的なものはないが必要に応じて
卒業生への支援体制はあるか	ほぼ適切	勉強会等実施

		学校施設の貸出
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	やや不適切	特別なことを実施していないため
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	ほぼ適切	中学校・高校の学院訪問受け入れや職業啓発活動

I. 課題

- ・進路、就職、その他相談等について専門の窓口を設けているわけではない
- ・保護者会等の実施など定期的な連携は取っていないが必要に応じて対応をしている
- ・業界・社会人ニーズ把握については形態的なものはないが、臨床実習指導者会議、実習地訪問等臨床現場を訪れた際、情報交換等行っている

II. 今後の改善方策

- ・必要性を吟味し、対応

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

カウンセリングの窓口（心の悩み）

(6) 教育環境

評価項目	評価	摘要
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	適切	必要な要件を満たしている
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	適切	必要な要件を満たしている
防災に対する体制は整備されているか	適切	必要な要件を満たしている

I. 課題

なし

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価	摘要
学生募集活動は、適正に行われている	適切	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切	
学納金は妥当なものとなっているか	適切	

I. 課題

- ・広報の手段、方法、内容の見直しは常に必要

II. 今後の改善方策

- ・高校生や進路指導者が必要としている情報を常に把握をするよう訪問時は心がける

III. 特記事項

なし

学校関係者評価委員会意見

(8) 財務

評価項目	評価	摘要
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	ほぼ適切	部分的に達成できていない
財務について会計監査が適切に行われているか	適切	
財務情報公開の体制は整備できているか	ほぼ適切	

I. 課題

- ・情報公開の手続き
- ・情報整理は出来ているが積極的な公開にはいたっていない

II. 今後の改善方策

- ・公開手続きの規程を明確化する

Ⅲ. 特記事項

学校関係者評価委員会意見

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価	摘要
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	ほぼ適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	やや不適切	不足している
自己評価結果を公開しているか	やや不適切	積極的な公開はしていない

I. 課題

- ・自己評価について明文化されたものを実施していない

II. 今後の改善方策

- ・自己評価表と実施規程の作成、実施

Ⅲ. 特記事項

学校関係者評価委員会意見

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価	摘要
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切	体育館の貸出など
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	やや不適切	特別なことはしていない
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	ほぼ適切	依頼されたものは受けている

I. 課題

II. 今後の改善方策

III. 特記事項

学校関係者評価委員会意見

グループ内での学生ボランティアの実施

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

あいまいな部分（明文化されていない部分）を明確にし、実施する必要がある。

学生管理のシステム化がなされていないので検討、実施する必要がある。

教員の技術向上、能力開発のためのシステム作りをし、明文化、実施する必要がある。

学校関係者評価委員会総評

良いところは伸ばし、足りないところは改める

看護に比べ、一般の人のイメージとしてリハビリが良く理解されていない

どのように高校生や高校の先生に知ってもらえるよう伝えられるか

リハビリテーションの職業を知ってもらうきっかけに、職場見学会の実施など行なうとと

もに、職能団体（県士会）にも働きかけていく

仕事の奥深さや面白さを知ってもらえる方法を探る